

# 鹿嶋神社の秋

**七五三詣** 男の子が3歳・5歳  
女の子が3歳・7歳 のお祝いです

七五三は一般に3才は男女児、5才は男児、7才は女児のお祝いとされています。  
3才を「髪置（かみおき）」・5才を「袴着（はかまぎ）」・7才を「帯解（おびとき）」と言い、いずれも乳幼児期から子供への成長を感謝し、さらに健やかで美しく聡明に育つようにと氏神さま（鹿嶋神社）に参詣し、願う行事です。七五三と言えば11月15日ですが、鹿嶋神社では10月10日から七五三のご祈祷（お祓い）ができます。

**【祝い年】七五三詣は、数え年でも満年齢でもできます。**

3歳 男・女の子：平成28年生（数え年）又は平成27年生（満年齢）  
5歳 男の子：平成26年生（数え年）又は平成25年生（満年齢）  
7歳 女の子：平成24年生（数え年）又は平成23年生（満年齢）

七五三のご祈祷を受けた方に

**お神札・お守り・千歳飴（5本入り）・守護矢**  
**「日本の神話」の小冊子・折り紙**  
**特製「ディズニーぬりえ」を授与します。**



## 【厄祓い・延寿祭のご案内】

今年まだ厄祓いを受けていないお父さんお母さんは、お子様の七五三のお祓いと一緒、厄祓いの祈祷もできます。また、還暦などの年祝いのお祓いを受けていないおじいちゃんおばあちゃんも、お孫さんの七五三と一緒に、延寿祭の祈祷もできます。受付にてお申込みください。



～のし袋の書き方～

**【七五三祈祷の受付期間と時間】**  
**10月7日(日)～11月25日(日)の**  
**午前9時より午後4時まで 随時受付**

※平日は、要予約です。  
※上記期間中の土・日・祝日のご祈祷（お祓い）は、予約不要です。  
※11/23のご祈祷は、新穀感謝祭の祭典のため、祈禱殿で行います。  
※お守りお札の授与時間は、祈禱受付時間内です。

## 【お初穂（はつほ）について】

七五三詣のご祈願は、  
**お一人5,000円です。**  
**初宮詣・交通安全・厄祓いなど、**  
**個人のご祈願は、1祈願5,000円です。**

白河地方の総氏神様

**鹿嶋神社** TEL(0248)23-3079  
<http://www.kashimajinja.jp>

## ～みなさまからのご質問に答えて～

- Q：七五三にはどうして氏神さまにお参りするのですか？**  
A：氏神さま（鹿嶋神社）は私たちの住んでいる地域をお守りくださっている神さまだからです。家族一人一人をいつも守って下さっている氏神さまに感謝申し上げ、これからのお子様の健康な成長とご加護をお願いするためです。
- Q：数え歳（かぞえどし）について教えてください。**  
A：満年齢は、生まれた時を0歳として、誕生日が来ると1つ年をとります。しかし、数え年は、生まれた時を1歳として、お正月が来ると1つ年をとります。これは、「お母さんのおなかの中で十月十日（とつきとうか）、約一年間はぐくまれ誕生した」と考え、昔の日本では生れてきた赤ちゃんを数え1歳と数えたわけです。

## つき なみ さい 月次祭 参列のお勧め

「月次祭（つきなみさい）」とは、毎月1日に皆様（氏子・崇敬者）の家内安全（繁栄と平安）、国家の隆昌をお祈りするおまつりです。

毎月の月次祭には、どなたでも神社にお上りのうえお祓いが受けられます。時間は5月から9月は午前6時（冬季の10月から4月までは午前6時30分）からですので、お勧めの方もご参列いただけたらと思います。

月の初めの日の早朝、氏神様にお参りして今月の無事を祈り、すがすがしいお気持ちで日々を過ごしていただくために、ぜひご参列をお勧めします。

月次祭日時／5月～9月の（1日）は、午前6時  
10月～4月の（1日）は、午前6時30分  
御初穂／300円（15分前にご集合ください。）

この月次祭に参列された方には、  
「色幣束（いろへいそく）」毎月1本、12ヵ月色が違います。  
「お米（撒饌（てっせん）：神さまからお下げしたお米です）」小袋  
「お神酒」180ml 1本を授与します。



# 祈禱のご案内

【祈禱受付時間】午前9時～午後4時  
 【御初穂(祈禱料)】ご祈願は1祈願5,000円です。  
 ころっろあんぜんきがん

## 交通安全祈願

～新車・中古車を購入した時にお祓いを受けます～

交通事故は、ちよつとした不注意や心のゆるみから発生するものです。お祓いにより、車を清めて神さまのご加護をいただきます。新車や中古車を購入した折に、交通安全祈願を行い、無事故を祈りましょう。祈禱を受けた方に、

お神札 お守り お神酒 ステッカー 本革製キーホルダーを授与します。  
 ほつみやまろうて

## 初宮詣

～生後30日前後にお祓いを受けます～

初宮詣は、赤ちゃんが授かったことへのお礼とお子様のすこやかな成長とを祈り、お子様を氏神さま(地域を守護してくださる神さま)にお目にかける一人の人間として認めていただく行事です。参拝日は生後30日前後といわれていますが、赤ちゃんの健康や母親の産後の回復を見てご参拝ください。

祈禱を受けた方に  
 お神札・お守り・お喰初め食器セット・歯固めの石を授与します。  
 あんぜんきがん

## 安産祈願

～妊娠5ヶ月目の都合のよい日にお祓いを受けます～

お母さんのおなかの中に赤ちゃんが宿ると5ヶ月目の戌の日「帯祝い」が行われます。戌の日を選ぶのは、犬が安産であることにあやかるものです。平安無事に赤ちゃんが誕生するようにお祈りしましょう。安産祈願のご祈禱(お祓い)においてになる際は、5ヶ月目の都合のよい日においでください。

祈禱を受けた方にお神札・お守り・腹帯・お神酒を授与します。  
 けんこう みのうえあんぜんきがん

## 健康・身上安全祈願

～あなたの健康と身上の安全をお祈りいたします～

健康が一番だと分かっていますが、体に負担をかけ無理をすることも度々だと思えます。健康と身上の安全をお祈りし、神さまのご加護をいただきますように。

祈禱を受けた方にお神札・お守り・お神酒・守護絆を授与します。  
 きんぱん

## 清祓い

～身に付いた一切のけがれをお祓いいたします～

「最近どうも良くない事が続く」とか、「気持ちが悪くどうもすっきりしない」と感じる方、また「最近病気がちで…」や「ケガが多くて…」など、大きな病気やケガではないけれど、どうも調子が良くないと感じる方がいます。神道ではこのような状態を「けがれ」といいます。清祓いとは、「けがれ」をお祓いにより取り除き清らかな普通の生活に戻すための祈禱のことです。

祈禱を受けた方にお神札・お守り・開運絆・お神酒を授与します。

## 出張祭典のご案内

解体清祓・地鎮祭・新宅祭・井戸埋めなど、神職がお伺いしてご要望に応じた祭典を行ないます。住宅建築は、ご家族にとって一生に一度の大きな事業です。土地や建物を祓い清める儀式(お祓い)は、その事業の無事成功や末永い家族の幸せを祈願するものです。

**解体清祓** (かいたいきよはらい) : 古くなった建物を壊すにあたって行われるお祓いが「解体清祓」です。建物を祓い清め、家屋の守り神に対して長年にわたり、何事もなく無事に過ごさせていただいた感謝の気持ちを表すとともに、解体工事がすみやかに無事終了するように祈願します。

**地鎮祭** (じちんさい) : 地鎮祭は、建物の新築に際して、その土地の神さまをお呼びして土地を祓い清め、工事の開始をご奉告し、工事の安全と建物の無事完成を祈願する大切なお祭です。※工務店は砂を準備。

**新宅祭** (しんたくさい) : 新宅祭は、完成した建物を祓い清め、工事が無事に終わり、立派に完成したことを神さまに奉告し、家庭の安全を祈ります。また、この際に神棚を設けてこれから末永く家庭をお守りいただくように神さまをお祭りすることが大切です。

【出張祭典の御初穂(祈禱料)】※祭壇一式などお祓いに必要なものは神社で持参します。初穂料：個人25,000円、会社30,000円より申し受けます。

## 《いろいろなご相談に応じます》

鹿嶋神社では、新築に伴う家相や年回り、赤ちゃんの命名などの相談に応じております。また、「神葬祭について教えて欲しい」「神棚を設けたいのですが、どうすればよいのでしょうか?」など、皆様方の疑問質問や相談に応じております。

新築に伴う家相・年回り・赤ちゃんの命名の相談は、鑑定料：1万円。  
 ※家相・年回り、命名とも鑑定に1週間ほどお時間を頂きます。

## パワースポット!

～あなたも触れて感じてみませんか～

**磐座(いわくら)** : 神社のご神体山(甕の森)には、古代からの祭祀が行われ聖地と云われる大岩があります。

**ご神木(ごしんぼく)** : 本殿西側に樹齢1,000年と云われている杉の大木があります。古来、岩や樹木には神霊が宿ると云われています。

## 【方位よけ(八方よけ・鬼門よけ・病門よけ)】

方位よけとは、年まわりが悪く「やることなすことうまくいかない」と言われているもので、方位よけのお祓いにより、その一切の災厄とさわを取り除くものです。

☆祈禱を受けた方に、お神札・お守り・方位よけ守護矢・お神酒を授与します。

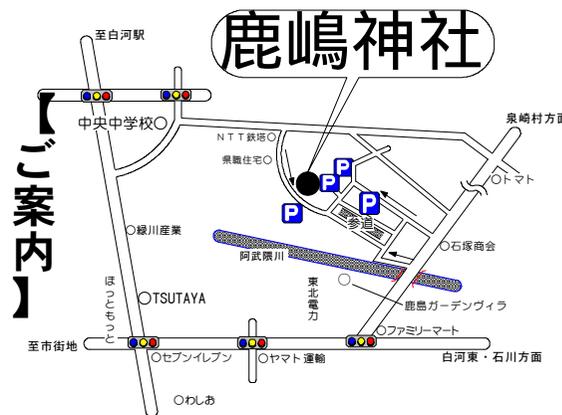
方位よけ早見表 ※年齢は数え年、男女共通					
八方よけ(はっぽうよけ)		鬼門よけ(きもんよけ)		病門よけ(びょうもんよけ)	
73歳(昭和21年生)	37歳(昭和57年生)	76歳(昭和18年生)	40歳(昭和54年生)	79歳(昭和15年生)	43歳(昭和51年生)
64歳(昭和30年生)	28歳(平成3年生)	67歳(昭和27年生)	31歳(昭和63年生)	70歳(昭和24年生)	34歳(昭和60年生)
55歳(昭和39年生)	19歳(平成12年生)	58歳(昭和36年生)	22歳(平成9年生)	61歳(昭和33年生)	25歳(平成6年生)
46歳(昭和48年生)	10歳(平成21年生)	49歳(昭和45年生)	13歳(平成18年生)	52歳(昭和42年生)	16歳(平成15年生)

## 《同級会での厄払い、還暦などの団体祈禱のお勧め》

鹿嶋神社では、来年のお正月の同級会での団体祈禱の申込みを受付けています。お申込みは、日時とどいたいの参列人数が分かれば結構です。お早めにお申込み下さい。お正月に同級会を開こうとお考えの方、多くの友人とともにお祓を受け、無病息災と幸せを祈りましょう。

- 来年の厄年、還暦の方は
- 厄祓い/男42歳(昭和53年生) 女33歳(昭和62年生)
  - 還暦/男女61歳(昭和34年生)

※年齢は数え歳  
 ※団体は、10名以上の申込み受けます。



## 白河提灯まつり(鹿嶋神社例祭・渡御祭)の御礼

神社境内での最後のお手打ちには、みんなで一つの目的に向かってやりとげた充実感と地域で生まれ、地域で育った喜びにあふれた顔が並びました。

胸を張って、じっと竿の先端を見つめて先達提灯を上げ下げする、祭りをひとりで背負っているような若者、神輿を担ぎ、川を渡る緊張した表情の壮者たち、屋台や山車の上で、笛や太鼓を力いっぱい演奏する得意そうな子供たち、その一つ一つの光景がまだ脳裏に浮かびます。

一日だけ雨にたたられて、屋台や山車が出せずに、夏休みの間一生懸命練習に励んだ子供たちには、少し残念だったかもしれませんが、この祭りのために昼夜分かたず、努力を重ねてくださった氏子崇敬者のみなさん、警備を担当してくださった警察署や警備会社それにシルバー人材センターのみなさん、参加者のために食事を用意してくださった各町のみなさん、そのほかこの祭りの円滑な執行のためにご尽力いただいた多くの皆さんにお礼申し上げます。